

## 令和5年度 学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加をめざし、カリキュラムマネジメントの視点を踏まえ、小・中・高一貫した教育課程の編成と、わかりやすい授業づくりに取り組む。	卒業までの12年間の系統性・連続性を意識し、子どもや地域の実態を踏まえた教育課程の編成実施、評価を行う。  小・中・高それぞれのライフステージで身につけさせたい力を確認し、わかりやすい授業実践をする。	学部研究の成果を踏まえ、子どもの学びを支える地域社会とのつながりや、小学部入学から高等部卒業までの系統性・連続性を意識した教育課程の編成、実施、評価を行う。  小・中・高それぞれのライフステージにおける指導支援の留意点、工夫すべき点を共有し、引き続き学習内容の整理を行い、本校の地域性を踏まえ、系統的に地域資源を活用した教育実践につなげていく。	自立と社会参加をめざし、カリキュラムマネジメントの視点を踏まえ、小・中・高一貫した教育課程の編成、実施、評価ができたか。  小・中・高それぞれのライフステージで身につけさせたい力を確認し、わかりやすい授業実践をすることができたか。
2	児童・生徒 指導・支援	チーム支援の視点を重視し、児童・生徒個々の教育的ニーズを適切に把握し、「主体的に学び行動する力」を育成する指導・支援を組織的に行う。	客観的アセスメントについて、学校全体での共通認識を持ち、アセスメント結果を踏まえてケース会を実施し個別教育計画に反映していく。  アセスメントの有効性について検証を続けるとともに、授業づくり、指導支援の実践に有効活用していく	各学部で採用した「客観的アセスメントツール」を活用し、共通言語を用いてケース会議を実施し、個別教育計画に反映させ、PDCA サイクルに則って実践していく。  客観的アセスメントを有効活用し、授業の年間計画の立案や授業づくり、授業改善、授業実践を行う。	チーム支援の視点を重視し、児童・生徒個々の教育的ニーズを適切に把握し、「主体的に学び行動する力」を育成する指導・支援を組織的に行うことができたか。  アセスメントの有効性について検証を続けるとともに授業づくり、指導支援の実践に有効活用していくことができたか。
3	進路指導・支援	一人ひとりの将来の自立と社会参加のあり方を見据え、発達段階とライフステージに沿った進路指導・支援を組織的に行う。	自己選択・自己決定を意識した授業や活動を実施し、地域との協働や地域の施設の活用を継続し、自立と社会参加に向けた進路指導・支援を行う。	最新の移行支援に関する動向等についての情報収集に努める。学校運営協議会の委員からの意見も求めながら、自立と社会参加という視点を意識した指導支援に取り組む。	一人ひとりの将来の自立と社会参加のあり方を見据え発達段階とライフステージに沿った自己選択・自己決定を意識した授業や活動を実践し、進路指導・支援を組織的に行うことができたか。
4	地域等との協働	共生社会の実現に向けて、地域におけるセンター的機能を継続するとともに、コミュニティ・スクールとして地域との協働による教育活動を展開することができたか。	F棟及びG棟の整備や活用について、学校運営協議会の将来構想部会、切れ目ない支援部会と連携しながら、将来構想チームを中心に検討し、実際の活用につなげていく。  「にんにく計画」や「交流フェスティバル」等を契機に地域との協働をさらに発展させる。	F棟・G棟内の整備については、学校運営協議会委員からの意見聴取を行い、短期的、中長期的な整備計画を立案する。  「にんにく計画」や「交流フェスティバル」の意義について全校で共有し、地域との連携・協働を推進する取り組みとして、更に発展させる。	共生社会の実現に向けて、地域におけるセンター的機能を継続するとともに、コミュニティ・スクールとして地域との協働による教育活動を展開することができたか。  二事業について、地域との連携協働を推進する取り組みとして、更に発展させることができたか。
5	学校管理 学校運営	すべての教職員が、教育課題を適切に把握し、解決に向けて組織的に対応していくことのできる学校体制を確立する。	組織的に業務改善、課題改善を行うシステムを定着させ、個人ではなく、チームで取り組むことを再確認する。	「よりよい学校づくり、業務改善に向けた提案」のシステムを活用し、PDCA サイクルに則り、業務改善に結び付ける。  ホームページを充実させるなど地域の関係機関に積極的に発信をし、支援学校としての姿勢を説明していく。	「よりよい学校づくり、業務改善に向けた提案」のシステムを活用して教育課題の解決に向けて組織的に対応する学校体制を確立することができたか。  ホームページを活用し、支援学校としての本校の姿勢を地域に向けて発信することができたか。